横浜市立瀬ヶ崎小学校　学校便り
せがさきの風
大きな朝日さしのぼる　希望と愛の花が咲く
世界に窓を開け放つ　ここは横浜　瀬ヶ崎小学校
〒236-0037　横浜市金沢区六浦東三丁目２番１号
TEL 781-2446・2447　FAX 701-4892
ホームページ http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/
メールアドレス y3segasa@edu.city.yokohama.jp
夏休み号
7月20日発行

「あたりまえ」じゃない

～「つながり」がつくる「想い」、「想い」がつくる力～

学校長　日暮　勤

６月に金沢公会堂で行われた横浜こども国際平和スピーチコンテスト金沢区審査会において、本校６年の白川桃々さんが最優秀賞を受賞しました。この「『あたりまえ』じゃない」というテーマのスピーチは、インドネシアの環境問題に取り組む大人から教えてもらった「ゴミ拾いをしながら生活する子どもたち」の存在を知ったことがもとになっています。この学習は学んできたことを知識にするだけで終わらず、「自分たちに何かできないか」と学年で相談し、様々なプロフェッショナルの方々と協働しながら、支援のためにオリジナルの商品開発、販売、募金活動を行っている実践です。販売した利益の一部や募金は、現地でごみを運ぶため子どもたちが使うカートなどの費用に充てられます。これもリモートで現地の方々と話し合い、決めたことでした。

６年生の子どもたちの「ごみを運ぶカートを贈りたい」という目標は、

今までの自分たちの生活が「あたりまえじゃない」という想い
現地の人との出会いとつながりから生まれた「役に立ちたい」という想い
自分たちが「誰かの力になれる」という想い
仲間と共につながって取り組むことで生まれた「ひとりじゃない」という想い
世界の現状やSDGｓについて「たくさんの人に伝えたい」という想い

こうした様々な想いが膨らみ、大きなものになった価値ある目標だったのです。

６年生は７月７日、８日に金沢八景駅前で募金活動を行っていましたが、道ゆく人に大きな声で「お願いします！」と声をかける一人一人の姿からも、目標に向かう強い想いが伝わってきました。

審査会当日の白川さんのスピーチは、「～してほしい」という人への願いではなく、「私たちの実践からそれらの想いを感じてほしい」という謙虚なものでした。しかし、このスピーチは「願う」よりも人の心を打つ「自分事」のメッセージでした。

最優秀賞が発表された瞬間、応援に来た６年生が自分のことのように抱き合って喜ぶシーンに「みんなの想い、意欲って温かい」と涙した私でした。

私は以前「〇力は〇欲から」という言葉を聴いたことがあります。「学」という字を当てはめると、学力は学欲からとなります。なるほど…とうなずけます。「カートを贈る」力は「カートを贈る」意欲からとなります。「こうしたい、こうなりたい」と思う心が「実現力」や「人間力」になることを、学習に取り組む子どもたちから改めて教わりました。

今年度は宿泊行事や遠足なども保護者の皆様の協力で無事実施することができました。本当にありがとうございます。明日からは夏休みが始まります。またしても感染の波は再来し、緊張感の解けない日は続きますが、子どもたちはきっと、たくさんのつながりから様々な想いをもち、その想いが力になることでしょう。瀬ケ崎小の子どもたちにたくさんの素敵な学びがありますように…。

夏休みの連絡と学校閉庁日

夏休みも新型コロナ関連の連絡を確実にお願いします。夏休み期間中（土日祝日及び学校閉庁日を除く）に、お子さんが濃厚接触者となった場合、または新型コロナウイルスに関する検査を受ける場合、学校（045-781-2446）にご連絡ください。また、結果が出た場合も速やかにご連絡ください。

瀬ケ崎小では、８月３日～１６日までが閉庁日になります。この期間中は、学校は、留守番電話になっています。緊急の場合のみ、本校を管轄する南部学校教育事務所までご連絡下さい。新型コロナウイルス要請判明等の連絡については閉庁日明けに学校へ連絡してください。

横浜市教育委員会事務局　南部学校教育事務所　０４５（８４３）６４０８